

「日本植物形態学会 30 年のあゆみ」について

第 11 代会長 峰雪 芳宣

(兵庫県立大学大学院生命理学研究科教授)

日本植物形態学会が創立して 30 年が経ちました。2018 年度の大会の時に、日本植物形態学会創立 30 周年の何か企画をしてはという話が出て、議論した結果、「日本植物形態学会 30 年のあゆみ」を学会ホームページ上に残すことになりました。日本植物形態学会は昭和 63 年 (1988 年) 1 月に 155 名の会員で発足しています。発足には 3 年の準備期間があり、昭和 62 年 (1987 年) 11 月 26 日に筑波大学で開催された日本植物学会第 52 回学会の関連集会で会則が決定されました。第 1 回大会は昭和 63 年 10 月に岡山大学で開催されていますが、第 2 回大会 (東北大学) から今年の第 30 回大会 (広島県情報プラザ) まで平成の時代に開催され、いよいよ今年の第 31 回大会 (東北大学) から令和の時代に移ります。本学会の今までの歴史はまさに平成の時代とともに歩んできたこととなります。新しい令和の時代に移行するに際し、一度過去を振り返ることは意味のあることだと思います。

初代庶務幹事の生津恒良先生の事務報告 (Plant Morphology, Vol. 1, 1989) によりますと、最初は世話人 7 名で検討を開始し、昭和 61 年 10 月 8 日に原襄先生 (東大・教養) を代表として、植田勝巳先生 (奈良女子大・理; 以下当時の所属を記す)、小野莞爾先生 (熊本大・理)、加藤雅啓先生 (東大・理)、黒岩常祥先生 (基生研)、佐藤利幸先生 (北大・低音研)、三戸信人先生 (山口大・理)、田中健治先生 (名大・医)、田中隆荘先生 (広島大・理)、長田敏行先生 (基生研)、生津恒良先生 (慈恵医大)、福田泰二先生 (千葉大・教養)、堀輝三先生 (筑波大・生物科学)、増田恭次郎先生 (富山大・理)、村上悟先生 (東大・教養) の合計 15 名からなる設立準備委員会を立ち上げ、初代の会長、評議員、役員が決定したところで、初代の執行部に移行したとのことでした。残念ながら、この 15 名を含む初期の立ち上げにご尽力いただいた先生方のうち、原襄先生 (初代会長)、生津恒良先生 (第 2 代会長)、植田勝巳先生 (第 4 代会長)、長船哲斉先生 (初代会計幹事)、西田誠先生 (初代会計監査)、田中隆荘先生、堀輝三先生など、すでに鬼籍に入られた方も多数おられます。また、当時若手で活躍しておられた先生方も、多くの方々が大学や研究所を定年退職されており、今、設立当時のことを記録に残しておかないと、忘れ去られてしまうとの危機感がありました。

幸い一昨年度に学会のホームページをより見やすく、外に向けて発信できるようにするためのリニューアルを行いましたので、このホームページを使って日本植物形態学会発足当時の状況などを記録に残しておこうということになり、本事業が立ち上がりました。黒岩常祥先生をはじめ、歴代の会長、編集長などの役職につかわれていた先生方には、学会の設立、運営や学会誌出版などについての項目を作成する際にご協力いただきました。どうもありがとうございました。また、本企画を中心になって実行した佐々木成江広報委員長、吉田大和広

報委員、宮沢豊前広報委員、永田典子庶務幹事に感謝いたします。

令和元年9月